

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 吸収性人工硬膜を用いた髄膜腫手術症例の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 脳神経外科 職位・氏名 教授・齋藤紀彦

【試料・情報の利用目的】

本研究は、2017年1月1日～2030年12月31日までに東邦大学医療センター大橋病院にて髄膜腫と診断され、吸収性人工硬膜*1を使用した開頭腫瘍摘出術を行い、その後再発による髄膜腫再摘出術を受けた(または、今後受ける)患者さんを対象とします。患者さんより病理診断のために取得した病理検体を用いて肉眼的、顕微鏡的に評価し、診療録(カルテ)より抽出したデータを併せて解析します。本研究に利用するデータは、術後フォローアップ期間を含め、2017年1月1日～2030年12月31日までとします。取得した試料・情報は、髄膜腫摘出術時に吸収性人工硬膜を使用し再発による髄膜腫再摘出術を受けた患者さんにおける、再発様式を検討することを目的とした研究に利用します。この研究で得られる成果は、髄膜腫患者さんへのより良い治療方針のご提案と予後改善につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

試料: 髄膜腫再摘出術の際、病理診断のために取得した病理検体

情報: 年齢、性別、発生部位、病理診断、分子診断、腫瘍径、治療内容(手術、放射線治療)、合併症、転帰(無憎悪期間、全生存期間)等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年4月より利用を開始します。

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2017年1月1日～2030年12月31日までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科にて髄膜腫と診断され、吸収性人工硬膜を使用した開頭腫瘍摘出術を受け、その後再発による髄膜腫再摘出術を受けた(または、今後受ける)方。

方法: 病理診断のために取得した病理検体を肉眼的または顕微鏡的に評価し、診療録(カルテ)から抽出したデータと併せて解析します。

本研究に利用するデータは、術後フォローアップ期間を含め、2017年1月1日～2030年12月31日までとします。

【研究組織】

代表施設名： 東邦大学医療センター大橋病院 研究責任者： 齋藤紀彦 役職： 教授

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 病院長 渡邊 学

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2030年12月31日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科

職位・氏名： 助教・平井希

電話： 03-3468-1251 内線： 7984